

ガス&エネルギーで未来を拓く

Iwatani

ガス&エネルギーで未来を拓く

世の中に必要なものこそ栄える イワタニだからこそできることがあります

時代の先に必要なものを見据え、産業と暮らしを支えたい。
イワタニは、ガス&エネルギーを通じて人と社会に貢献します。
地球が何億年もかけて育んでくれた、ガス&エネルギー。
このかけがえのない資源を扱う企業として、
1930年の創業以来、LPガスや水素、産業ガス事業を中心に、
生活関連商品、機械、溶材、電子機器、
マテリアル、食品など幅広い事業を展開してきました。
その原動力は「世の中に必要なもの」を探求する精神のもと、
一人一人が持つ、お客さまとの信頼関係やネットワーク、
そこから生まれる発想や挑戦といった人間力に裏付けされます。
新たな価値の提案と潜在ニーズの発掘に努めること、
どのように時代が変わろうとも、この使命は揺るぎません。
そして、ますますお客さまから求められる企業に成長しながら、
人と社会の明日へ、最善を尽くし続けます。

お客さまとともに
技術の未来を発信します



研究開発拠点「中央研究所」(兵庫県尼崎市)

商社ならではの「情報力」と長年培った独自の「技術力」。イワタニが持つポテンシャルを大きく花開かせるための研究開発拠点として「中央研究所」は大きな役割を担っています。従来から蓄積してきたガステクノロジーをベースに、新たに世界トップレベルの各種分析機器・多彩な試験環境を整備。シーズとニーズを融合した新たな価値の創造で社会に貢献



したいと考えています。目指す方向は、「開かれた研究所」。自社単独の開発だけでなく、お客さまやパートナー企業をはじめ大学・公的研究機関や行政団体など、多岐にわたる企業・団体とのコラボレーションにより、新技術・新商品を生み出していきます。そのために、最先端の研究課題に対応する、多様で高度な分析機器・設備を整備。お客さまとの

共同研究から、ご要望にお応えする製品開発までのワンストップサービスを実現します。また、当社が開発したオリジナル技術をご理解いただくために、水素ステーションをはじめ、各種のデモンストレーション機能も併設。水素社会をはじめとした、イワタニが提案する未来の姿を、「中央研究所」を通じて分かりやすく体感いただけます。

未来を考えることは
水素のこれからを考えること



国内初、燃料電池バスへの本格的な充填が可能な「イワタニ水素ステーション 東京有明」(東京都江東区)

イワタニは1941年から水素の需要開拓に取り組み、液化水素の製造、用途開発でも常に先陣を切ってきました。2014年12月、トヨタ自動車株式会社が燃料電池自動車「MIRAI」を市販開始。水素を活用する社会に向けた取り組みが加速する中、当社も水素ステーションの設計・施工機能の一元化を図り、技術・エンジニアリング体制を強化することで、全国で

水素ステーションを運営するなどインフラ基盤の強化を推進しています。国内初の商用水素ステーション「イワタニ水素ステーション 尼崎」を皮切りに、愛知県、東京都をはじめ四大都市圏を中心に整備を進め、2023年度までには、合計で83カ所の水素ステーションを開所する予定です。また、2006年から毎年、水素エネルギー普及

の気運を盛り上げ、ネットワークづくりの場を提供することを目的に「イワタニ水素エネルギーフォーラム」を開催。水素に関する分野の産・官・学の架け橋となり、水素エネルギー社会の実現に向けて取り組んでいる他、次の時代を担う子どもたちへ水素の魅力やクリーン性を伝えるために、水素の啓発活動にも力を入れています。





暮らしを見つめるエネルギー
安心・安全と共にお届けします

大阪東LPGセンター（大阪府大東市）

1953年—薪や炭の火おこしやスに悩まされていた主婦たちの台所の負担を軽減したいと、日本で初めて家庭用LPガスの販売を始めたイワタニ。輸入から家庭への一貫供給を担う立場で、安定供給だけでなく、保安体制の充実までを着実に進めています。その供給体制は、産ガス国との直接輸入契約に始まり、自社用船タンカーを運用し輸



入基地へ備蓄。そして、独自のLPガスブランド「Marui Gas」として各ご家庭へお届けしています。LPガスから水素を取り出して発電し、同時に発生する排熱から温水を作る家庭用燃料電池「エネファーム」も販売。また、LPガスは「分散型」であり「高い災害対応力」の強さが信頼の証。ガスヒートポンプエアコンや

LPガス非常用発電機など、災害時の電力確保に効果を発揮するシステムについても一層の普及促進に努めています。「Marui Gas災害救援隊」には、液化石油ガス設備士などガスのエキスパート約3,600名が登録され、万一の際は全国から被災地へ駆けつけ、LPガス設備が早期復旧できるように備えています。

フィールドは海を越えて
イワタニは期待を超えていく



岩谷オーstralia会社の鉱区(オーストラリア)

海を越えて広がるイワタニのフィールド。LPガスの輸入事業では、イワタニが海運会社と用船契約を結んでいるLPガスタンカー(約4万t)の航行状況を熟考しながら、サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、米国より輸入し、コストと効率を追求するオペレーションを行っています。古くより力を注いできた中国では、空気分離ガス事業、炭酸ガス製造事業や金属コーティング事

業を展開するなど、産業ガス、マテリアル分野をはじめとする事業拠点は40以上に及びます。米国ではバルブ、鉱産物、焼成治具、カセットコンロ・カセットボンベを販売。直近では、カリフォルニア州で水素ステーションの運営も開始しました。また、米国・カタールより希少資源であるヘリウムを調達し、日本や成長が著しい中国、東南アジアに供給しています。

オーストラリアではミネラルサンドメーカーを有する日本唯一の商社として、メーカーポジションでの事業展開をする他、褐炭より水素を製造し、日本に輸入する実証事業も開始。インドネシアからはPKS(パーム椰子殻)の輸入を開始するなど、各分野において海外での活動のウエイトが高まっています。



「世の中に必要とされる企業」であり続けるために 新たな価値の創出に努め社会に貢献していきます

1930年の創業時より、岩谷産業は「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」という企業理念のもと、暮らしや産業に多様なガス&エネルギーをお届けしています。

その根底には、これからの世の中が必要とする新しい価値を創造することで、社会に貢献したいという思いがあり、それが事業推進の大きな原動力になっています。

2000年度からの5次にわたる中期経営計画では、「ガス&エネルギー」を中核事業として構造改革を推進した結果、収益力並びに財務体質が大きく改善しました。

2018年からスタートした3か年の中期経営計画PLAN20では、テーマを「進化」と「創造」、基本方針を「成長戦略の推進」と「経営基盤の拡充」とし、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んできました。その結果、経営指標目標（経常利益330億円、ROE10.0%以上、ネットD/Eレシオ0.7倍）を全て達成しました。

2021年度には新たな中期経営計画PLAN23を発表しました。テーマを「水素エネルギー社会の実現に向けて～事業の枠組みを超えた挑戦～」、基本方針を「脱炭素社会に向けた戦略投資の強化」と「デジタル化の推進」とし、更なる成長に取り組んでいきます。

当社は1941年から水素を究極のクリーンエネルギーとして捉え、水素エネルギーの普及に向けた歩みを進めてまいりました。「住みよい地球がイワタニの願いです」をスローガンに、水素の利活用を通してCO₂フリー社会を実現することで、環境問題という社会的課題の解決を目指しています。

また、世界のエネルギー関連企業が中心となって発足したHydrogen Council（水素協議会）に主要会員として参画し、グローバル規模で水素利用促進に向けた活動も行っています。

水素の新たな需要創出については、燃料電池自動車（FCV）の普及に向けて水素ステーションの整備を進めています。FCVの普及が先行する米国・カリフォルニア州にも整備を拡大し、将来的には同州での液化水素製造も視野に入れています。

CO₂フリー水素の取り組みについては、運搬船による実証に取り組んでいる豪州からの液化水素の大量輸送・貯蔵プロジェクトや、再生可能エネルギーによる発電で水素を製造する「福島水素エネ社会構想」にも参画し、2020年2月から「福島水素エネルギー研究フィールド」が稼働しました。また、同年12月には、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する新たな団体「水素バリューチェーン推進協議会」を設立するなど、水素社会の構築・拡大に向け、様々な取り組みを進めています。

一方で、当社の主力であるLPガス事業は全国320万世帯の顧客がその事業基盤になっています。顧客への新たなサービスを創出する「イワタニゲートウェイ」は実証を終え、2021年7月よりサービスを開始しました。

来るべき100周年、そしてその先への飛躍に向けて、これからも全てのお客様、株主・投資家の皆様、お取引先、地域の方々、そして社員に新たな価値を提供し続け、「進化する総合エネルギー企業」として持続的な成長を目指していきます。



代表取締役会長 兼 CEO

牧野明次

代表取締役 社長執行役員

間島 寛



総合エネルギー
産業ガス・機械
マテリアル
自然産業

地球からの贈り物である、ガス&エネルギー。
伊ワタニは、この大切な資源を有効に活かすため、
独自に培ってきた技術と販売網に資源を結集し、
4つの視点から幅広い分野で展開しています。
人と社会の明日に、必要なものを提案すること。
そして、必要なものを使いやすく、さらに便利なものへ。
それぞれの分野が、お客さまの課題解決のために、
最もふさわしい必要を届ける。
産業や技術のそばに寄り添うパートナーとして、
企業の発展と人々の暮らしに貢献していきます。

産業と暮らしの必要を
4つの視点で支えます

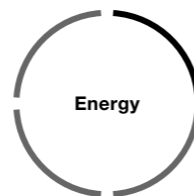
暮らしと社会を見つめ 届けるべきものを見いだす

伊ワタニは、LPガスを安心・安全にご利用いただくために、
輸入からご家庭へのお届けまでの独自の一貫したネットワークを駆使し、
安定供給を行っています。
さらに、水素をはじめとした新エネルギーの実現にも努めています。



堺LPG輸入ターミナルに着陸したLPGタンカー（大阪府堺市）

総合エネルギー



産ガス国から、ライフラインとなるエネルギーをつなぎます。



LPガス（海外輸入）

伊ワタニはLPガスの磐石な供給体制の確立を目指し、1980年、サウジアラビアとの間に石油メジャーなどを介さない直接輸入契約を締結。1981年より輸入を開始し、現在では中東やアジアだけではなくアメリカまで輸入ソースを拡大。国際情勢などのリスクにも

左右されにくい強固な供給体制をつくりあげ、自社用船によって安全かつ安定的に国内に送り届けています。家庭用から自動車用燃料、産業用へと、ますます多様化するニーズに応えながら、伊ワタニは日本社会への安定したエネルギー供給を担っています。



暮らしのエネルギー **Marui Gas**

プロパンガス普及の時代から、豊かな暮らし提案の時代へと市場環境が変化する中、1993年に発売40周年を迎えた伊ワタニのLPガスブランドを「マルキプロパン」から「Marui Gas」へと一新。国内最大となる1400の特約店ネットワークを生かして「供

給から提案」へ事業体質の改革を進めています。「生活者に選ばれるエネルギー」をコンセプトに、より地域に密着したニーズ開拓を進め、今や都市部から島しょ部まで全国320万世帯に供給。豊かな暮らしを支えながら、安心と安全もお届けしています。



LPガスインテグレーション（国内供給）

産ガス国から台所まで。伊ワタニはLPガスの輸入安定化に取り組みとともに、国内での安全で効率的な備蓄・供給体制づくりを推進しています。堺LPG輸入ターミナルをはじめ、2次、3次基地の整備・統合を通して、ご家庭までの供給ネットワークの強化を進めています。



バルク供給

LPガスの大容量供給システム「バルク供給」。専用のバルクローリー（ポンプ付ローリー車）から貯槽に直接ガスを充填することで流通を合理化し、顧客利便性を向上。ご家庭から工業用まで、さまざまな場面で設置が進んでいます。

確かな技術力で、安全で安心な毎日を支えます。



イワタニゲートウェイ

一般家庭に設置するガス警報器に情報ネットワーク機能を付加することにより、さまざまな「モノ」をインターネットにつなぐプラットフォーム(中継基地)「イワタニゲートウェイ」を開発。ガス・電気メーターなどと接続し、ガス切れ防止やLPガス配送の効率化を図ると

ともに、高齢者の見守りサービスや健康管理など、暮らしに役立つ新たなサービスを提供します。2020年11月にはイワタニゲートウェイ(株)を設立、2021年7月よりサービスを開始しました。



独自の保安統一基準

安全確保、それはイワタニが自らに課した事業開始当初からの命題です。長年にわたり全社で蓄積した膨大なノウハウは、独自の保安統一スタンダード (ISS:Iwatani Safety Spec) に体系化され、社内およびお客さまの安全管理の標準として活用されています。



24時間監視システム「テレセーフ」

ご家庭でのガス漏れや燃焼器具の長時間使用などを、イワタニコールセンターで24時間365日有人監視。緊急情報を察知すると、お客さまへの連絡と同時に担当販売店に通報し、家庭での事故を事前に防止するシステムです。



分散型エネルギーとしての強みに評価高まる

LPガスは「災害に強いエネルギー」としてだけでなく、電力系統やガス導管による「集中型エネルギー」には無い「分散型エネルギー」としての強みにも評価が高まっています。また、全国100カ所以上に及ぶ供給拠点のうち、災害発生時にもLPガスの出荷が行

えるように、基幹拠点となる充填所を最優先で設備強化し、災害に備えています。また、東京本社にはLPガスによる空調設備(GHP)を導入し、節電要請にも対応。さまざまな社会の要請に柔軟かつスピーディーに応えます。



LPガス非常用発電機

災害に強い分散型エネルギー、LPガスの利点を生かし、非常時の必要電力を賄うための「LPガス非常用発電機」を提案。公共施設、防災マンションなどの重要施設において、万一の災害時にもガスと電気を安定的に確保することができます。



ガスヒートポンプエアコン(GHP)

ガスエンジンで冷媒を循環させ、消費電力を抑えながら効率よく冷暖房を行う「GHP」。ガスエンジンで発電し、廃熱を給湯や暖房に有効利用する家庭用コージェネレーションシステム「エコウィル」。LPガスを生かした「省エネ」と「創エネ」はイワタニのテーマです。



電力事業

2016年4月からの電力小売全面自由化により、「イワタニでんき」ブランドで家庭用電力販売市場に参入。首都圏、関東圏を中心にMarui Gas顧客を対象にLPガスとのセット販売でさらなるサービスの向上を目指しています。



都市ガス事業

2017年4月からの都市ガス小売全面自由化により、関西電力(株)などと業務提携を行い、都市ガスの保安業務や販売代理において事業参入しました。従来から当社および当社グループがLPガス事業で培ってきたお客さまへの「提案力」や「保安力」を生かしながら安心・安全な都市ガス供給をサポートします。



エネファーム

エネファームは、LPガスや都市ガスから水素を取り出して、その水素で燃料電池による発電を行い、同時に発生する排熱から温水を回収する家庭用コージェネレーション設備です。エネルギー効率が高く、CO₂の排出量を大幅に低減できます。



デリバリーステーション

「これ1台でどこでも簡単、本格調理」をコンセプトに、あらゆるシーンでおいしいご飯や汁物などが安全に調理でき、LPガスの良さを実感していただける当社オリジナルのLPガス専用炊き出しセットです。各イベントなどに活用いただき、災害時のBCP対策備品としてもご提案しています。



Maruiムティ

全国の「Marui gas」ご利用世帯に毎月お届けする情報紙「Maruiムティ」は衣・食・住・遊などの暮らしの情報に加え、環境・防災・防犯の知識も紹介。お客さまと販売店との双方向の情報交流を通して、よりよい暮らしづくりのお手伝いをしています。



子ども110番活動

日頃お世話になっている地域への社会貢献活動の一環として、グループで「子ども110番」活動に取り組んでいます。この町の子もたち、お年よりは私たちが守る。そんな思いで、営業車や配送車での業務を通じて、犯罪抑止に貢献しています。

新しいエネルギーで、循環型社会を実現します。



LNG(液化天然ガス)

天然ガスを液化したLNGは、窒素酸化物(NOx)やCO₂の発生が極めて少なく、石油に替わるクリーンな代替エネルギーと期待されています。伊ワタニは、関西電力(株)との合弁によるエル・エナジー(株)の設立など、より安全で安定したLNG供給体制を構築しています。



コージェネレーションシステム

ガスエンジンやタービンで自家発電を行い、その際に発生する排熱エネルギーを、冷暖房などに利用するシステム。家庭用から大型施設まで、電力と排熱の利用規模や用途などに合わせて、エネルギーを効率利用するシステムとして広いニーズに対応しています。



LNG 地域導管事業(都市ガス事業)

LNGの可能性を地域のエネルギーインフラに生かす。そのモデルとして電力会社、ガス会社と共同で進めているのがLNG地域導管事業です。滋賀県に設立された甲賀エナジー(株)では関西電力(株)堺LNGセンターから輸送されたLNGから「都市ガス(天然ガス)」



LNG 緊急対応ネットワーク

LNGの輸送時に事故などが発生した際に、事故の早期収束と二次災害発生防止を目的として緊急対応ネットワークを整備。技術スタッフの現場出勤や事故ローリーの避難指示など、グループ内で速やかに情報を伝達できるよう、定期的に訓練を行っています。



全国でエネルギーセミナー開催

ガス&エネルギー事業で蓄積した総合的なノウハウを生かしたソリューションを、セミナーを通じてお客さまに提供。重油からLPガスへの燃料転換を提案し、省エネによる取引先企業のコスト低減とCO₂削減による地球環境保全の両立を目指した取り組みを進めています。

豊かさと健やかさを、生活のすぐそばにお届けします。



カセットガスとその使用機器

独自の発想で暮らしとイワタニの接点を広げる「カセットガス」使用機器。1969年に発売開始したホースノンこんろ「カセットフー」は家庭からレジャーの分野にまで需要を広げ、米国や中国、台湾を中心に海外にも供給するロングセラー商品に成長。



その可能性をさらに広げる商品として、ガス火炊きの美味しいごはんが手軽に楽しめる「カセットガス炊飯器 HAN-go」や、おうち焼肉の新定番「スモークレス焼肉グリル やきまるII」、居酒屋気分で、串焼きや炙り焼きをご家庭で楽しめる「炬ばた焼器 炙りや」



などをラインアップ。変化するライフスタイルやニーズに合わせ、様々なバリエーションを展開。そこには、常にガスと暮らしを見つめるLPガスのハンドリング技術を追求してきたイワタニのノウハウが生きています。



FORE WINDS

1995年から続くアウトドアブランド、「FORE WINDS」(フォアウィンズ)を刷新し、グローバルブランドとして国内・海外での販売を開始。ブランド誕生時のコンセプト「自然との融合」に、「機能的で良質なデザイン」を新たに加え、機能美を追求したアウトドア

ギアを展開。カセットガスの利便性を生かし、スマートで快適なアウトドスタイルを提案します。イワタニのガス&エネルギーの価値を消費するものから新たな経験を生み出すものへ。FORE WINDSは自然と寄り添うための新しい風を吹かせていきます。



ALALA シリーズ

主成分を生分解性の高い天然ヤシ油にこだわり、生活排水のクリーン化に貢献する家庭用洗剤「ALALAシリーズ」。環境だけでなく、手肌にもやさしい自然派のブランドとして台所洗剤からハンドソープや、ボディソープにまでラインアップを広げています。



バナジウムの恵み 富士の湧水

自然豊かな富士山北麓より採水した、「バナジウム」を多く含む天然水が「富士の湧水」です。最新の製造工場での徹底した品質管理、そして使い切り容器で空気に触れにくい「D・パック」で、採水地からお客さままで安全にお届けします。



健康食品

液化窒素を使った超低温凍結技術で素材の良さをそのまま生かした「胡麻豆腐の素」「スポリキ」をはじめ、オーストラリアの「マヌカハニー」、和歌山県産の「じゃばら」など優れた食の素材を通じて健やかな暮らしを提案しています。



イワタニアイコレクト

家庭用品、健康食品、化粧品、アウトドアグッズや産直グルメなどを、暮らしの提案とともにお届けする総合ショッピングサイト「イワタニアイコレクト」。豊富な製品ラインアップを取りそろえ、暮らしに彩りをそえる逸品をご紹介します。

産業界のその先を ガスと技術で切り拓く

イワタニは、酸素・窒素・アルゴンなどの空気分離ガスの他、極低温でのハンドリングが必要な液化水素やヘリウムなど、多岐にわたる高圧ガスで産業をサポート。

ガス技術の応用を通じて、さまざまな分野でのソリューションに挑み続けています。



出荷中のヘリウムコンテナ(兵庫県神戸市)

産業ガス・機械

Industrial Gases
& Machinery

ガス供給の基盤を固め、産業のニーズに応えます。



水素のパイオニア

イワタニは1941年から水素の需要開拓に取り組み、液化水素の製造、用途開発でも常に先陣を切ってきました。その過程で、従来の圧縮水素に比べ運搬効率が12倍という「液化水素」の可能性にいち早く着目し、2006年に大阪府堺市に液化水素とセパレートガスの

製造を目的とした次世代型併産プラント「ハイドロエッジ」を、2009年には千葉県市原市に東日本初の液化水素製造プラントを稼働。また、2013年、山口県周南市に国内3カ所目の液化水素製造プラント「山口リキッドハイドロジェン」が稼働しました。



ヘリウムのトップサプライヤー

ヘリウムの沸点マイナス269℃という極低温特性や高温域でも不活性である特徴を活かし、最先端分野で多く使用されています。イワタニは、従来の米国からの調達に加え、2013年からカタールで生産されるヘリウムのうち、国内需要に匹敵する量の直接購入

を開始。また、2019年には茨城県に国内最大級の供給拠点「東京ヘリウムセンター」を設立。東京、大阪の国内2拠点に加えて、中国・東南アジアでの拠点を増強しており、堅調な需要が続くヘリウムの安定的かつ効率的な供給を実現します。



空気分離ガス

液化した空気から沸点の差を利用して取り出す酸素、窒素、アルゴンは、半導体製造や医療をはじめ様々な分野に広く貢献しています。イワタニはセパレートガスの生産・供給体制を全国規模で拡充し、安定供給体制を構築しています。



オンサイト供給

オンサイト供給とは、ユーザーの敷地内にガスプラントを直接設置してガスを生産・供給するシステム。ニーズや使用条件に合わせた最適な設備をユーザーのプラント内に組み入れることでより効率的な生産システムの構築が可能となります。



グローバル事業展開

産業ガス分野では、中国大連地区で空気分離事業を行い、華東(上海)地区では空気分離・炭酸ガス製造を行っています。また中国・東南アジアでの販売網を拡充。併せて、溶接ロボットなどの機械分野でも販売体制の強化を図っています。

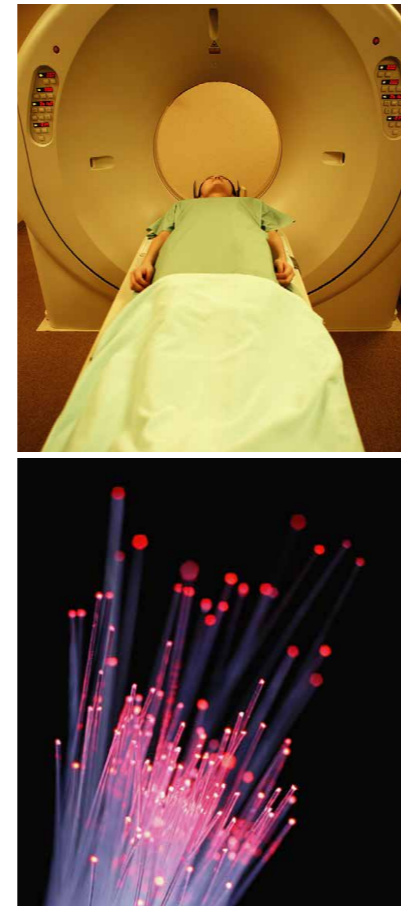
ガスの可能性と創造性で、あらゆる課題に挑みます。



水素・液化水素

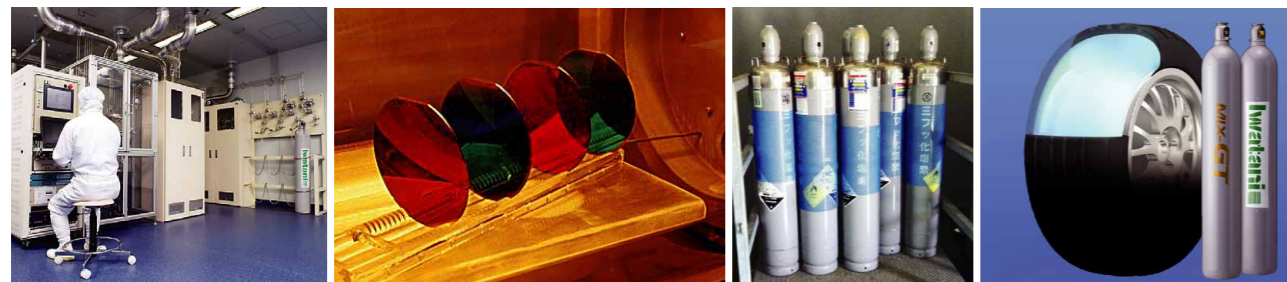
燃料電池や半導体製造、ロケットの燃料など、環境・ハイテクをはじめさまざまな分野で利用される「水素」。液化水素はその環境性の高さから、化石燃料に替わるクリーンエネルギーとして社会を変える力を秘めています。イワタニは、産業用途の液化水素供給を

日本で初めてスタートさせ、将来の水素需要増大への対応や、再生可能エネルギーを用いたCO₂フリー水素製造実証など数々のプロジェクトや社会実験を通して、水素社会のインフラ整備を進めています。



ヘリウム

ヘリウムは、世界6カ国でしか産出されない貴重な資源ですが、ハイテク・医療・宇宙などの分野に不可欠な材料として世界的な需要拡大が見込まれており、安定確保は先端産業育成の重要課題です。イワタニは国内トップサプライヤーとして、安定供給に努めています。



新ガス開発へのチャレンジ

「必要なら探す、なければ創る」。業種や分野の垣根を越え、お客さまの課題を徹底的に共有し、不可能を可能にする。それがイワタニの「新ガス開発」の視点です。高濃度オゾン分野では、不可能とされていた50%以上の高濃度オゾン水の製造・貯蔵技術を確立し、

半導体製造の分野などに応用。半導体製造用クリーニングガスのスタンダードとなったClF₃(三フッ化塩素)によるノンプラズマクリーニングもイワタニが独自に開発した技術です。強みの溶接技術を生かし、燃費向上のために車体の軽量化が進む自動車向けでは、極薄

板接合の強度や外観品質を高めるアルゴンガス、炭酸ガスの混合比率をコントロールした最適な混合ガスを提案。また、安全性、低燃費、環境性能などに配慮したタイヤ充填用ガス「MIX-GT」「N₂-GT」など、新たな分野でもガスの可能性を切り拓いています。



冷熱利用

気体から液体、固体へとガスを自在に制御する技術は、さまざまな用途に応用できます。イワタニはさまざまなガスの特性を生かし、食品の凍結粉碎や急速冷凍をはじめ、医療・環境・ハイテク分野まで、多様なニーズに最適なソリューションを提案します。



医療用ガス

酸素、窒素、炭酸ガスなど、命の現場を支えるさまざまな医療用ガス。イワタニは医療施設の特長や規模に応じたガス環境の整備から、安全な使用に向けた「医療ガス安全講習会」の実施に至るまで、包括的なサポートを提供しています。



環境良品の開発・提案

ガスの無限の可能性を、さまざまな分野の課題解決に応用するため、イワタニはメーカーの「技術力」と商社の「提案力」という2つの強みを生かし、環境問題の解決・緩和・影響低減を考えた商品「環境良品」の開発と提案を強化。フロンガスに替わる自然冷媒「エコフリーズ」

や、カーエアコン用新冷媒「HFO-1234yf」、ドライアイス直径6mmほどのビーズ状に加工して冷却効率を高め、保冷輸送の省力化に貢献する「ビーズドライアイス」の実用化など、ガスのポテンシャルを多様な視点で応用し、分野を越えた環境課題に挑んでいます。



炭酸ガス・ドライアイス

化学・鉄鋼メーカーなどから発生するオフガスを回収・精製し再利用する炭酸ガス・ドライアイス事業は、環境負荷を低減しながら新たな価値を生む「創造性」に満ちています。イワタニは溶接用をはじめ、ビールなどの炭酸飲料用、食品の冷却・冷凍輸送用、ダム

建設時のアルカリ排水の中和用、植物工場における光合成促進用(トマト、葉物等)、ベレット状ドライアイスによるプラスト洗浄用など、さまざまな領域で新たな可能性を追求。ガスのソリューションパートナーとして、さらなる用途開発に取り組んでいます。



半導体ガス供給

半導体メーカーとの協働による独自の新ガス開発を推進。そして、半導体製造工程の材料ガス、雰囲気ガス、クリーニングガスをトータルに供給。また毒性・可燃性ガスを安全に管理するため、ガス供給装置と配管システムの一体施工を行っています。



低温機器製造

お客さまへの安定供給には、極低温の液化ガスの安全な輸送と貯蔵の技術が不可欠です。イワタニは酸素、窒素、水素などの低温液化ガスの貯蔵・運搬のノウハウを生かし、貯槽やタンクローリーなど低温機器の製造・販売事業を展開。品質・コスト面での競争力を飛躍的に高め、スケールメリットや製造工法の見直しにより製造コストを大幅に削減。液化水素をはじめ、極低温ガスメーカーとして培ってきた低温技術を基本に、より適切な輸送方法、貯蔵方法、供給設備を提案し、合理化に貢献します。

環境保全からメカトロニクスまで、ガスの多様性を追求します。

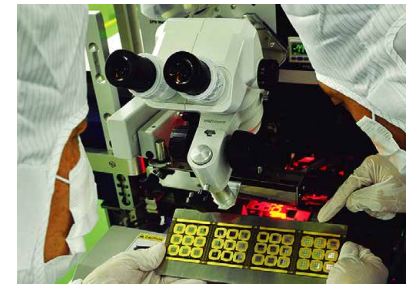


再生医療分野への応用

昨今、市場が急速に拡大している再生医療分野は、当社の強みである産業・医療・食品用ガスのハンドリング技術や産業用ロボットなどの自動化技術を生かせる分野です。バイオ・再生医療施設に対し、細胞凍結用液化窒素やインキュベーター用炭酸ガスをはじめ、



細胞保存・輸送容器、ロボットおよび設備までトータルコーディネートが可能です。特に-196℃の極低温である液化窒素は、細胞の凍結保存用途での使用に適しており、-70℃輸送のドライアイスと併せて細胞の保管・輸送の増加に伴う需要に対応します。



半導体製造装置

半導体製造の分野では、各工程を総合的に捉えた高度なワンストップソリューションを提供。その範囲は設備・システムにとどまらず、最先端マテリアルを用いたパッケージの提案など、綿密なサポートや、幅広いコンサルティングにまで及びます。



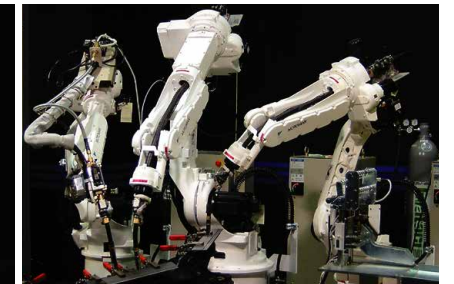
溶断ガス「ハイドロカット®」

水素ガススペースの混合ガス「ハイドロカット®」は、CO₂排出量を大幅に削減、逆火が起こりにくい、放射熱が小さい、空気よりも軽く滞留しにくい等、環境性・安全性・作業性に優れています。造船、建設、自動車部品など、幅広く実績があります。



溶接・溶断・産業用ロボット

新たな技術開発と顧客サポートの拠点として「溶接デモンストレーションルーム」を中央研究所に設置。溶接用ガスの供給だけでなく、シールドガス等の研究開発、デモサンプル評価試験、ユーザーからの溶接試験や教育育成の受託。ワイヤ、溶接機、ロボットメー



カーとのタイアップによる総合的なシステムソリューションの提供など、サポート&コンサルティング機能を強化。さらに、溶接・切断・塗装・研磨など一連の工程にロボットアプリケーションを提供するシステムオーガナイザーとして新たなステージに挑んでいます。



RFタグによる容器管理のIT化推進

高圧ガスのシリンダー管理は物流合理化、保安強化の観点から業界全体の重要課題とされ、現在日本産業・医療ガス協会の統一規格によるRF (ID) タグ管理への移行が進められています。遠隔での個体識別が可能なこの技術にいち早く着目したイワタニは、



容器回転率の向上や放置・不明容器の把握機能を強化した自社管理システムを構築し、さらにその機能とデータベースをクラウドコンピューティングによってネット上から販売店に提供する「瓶豪(びんごう)」システムをリリースしています。



オゾンパッシベーション®

イワタニが独自開発した「オゾンパッシベーション®」は50%以上の高濃度オゾンによって半導体製造設備や配管金属表面を不動態化させ、ガスに対する耐食性を向上。デリケートなデバイス製造現場でのパーティクル発生を著しく低減し、使用後のオゾンは無害な酸素へと変わります。



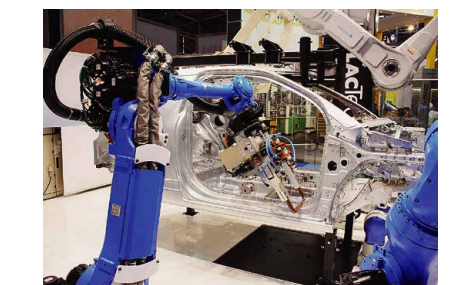
電子部品製造装置

スマートフォン、タブレット端末などのキーデバイスである最先端電子部品の製造に関わる工程設備を一貫ラインで提供。イワタニは、今後ますます進展する「微細化」「高機能・高性能化」のニーズに応え、提案力の強化を進めています。



総合プラント防災システム

ガスの「保安」のエキスパートとして、エアごとに安全を見守る「総合プラント防災システム」。センサーによる多角的な安全監視、化学薬品や可燃性ガスなどの防火・消火からテロ対策に至るまで、イワタニが培った危機管理ノウハウが生かされています。



FAシステム

イワタニは、独自のノウハウで様々な製造現場の合理化・効率化を支援。汎用性の高い工作・板金機械、独自性の高い板金・溶接専用機、粉末成型装置、電子部品製造装置、各種組立・検査装置、物流システムなど、幅広いソリューションを提案します。



ガス回収装置

消火用ガスの「ハロン」は、オゾン層破壊物質であることから製造禁止となりましたが、消火能力や安全性に優れ、現在も多くの施設で使用されています。このハロンガスの回収・充填設備を兵庫・埼玉の2拠点に設け、回収・充填需要に対応しています。



PFC燃焼除害装置「ダイナガードF」

半導体業界からの強いニーズに対応し、世界に先駆けて開発したPFC燃焼除害装置「ダイナガードF」は、国際的な削減対象となっている地球温暖化ガス「PFC」を強制燃焼によって効率的に分解することに成功。イワタニの環境技術の一端を担っています。



LN₂コンクリートクーリング

ダムや橋脚の建設に使われるコンクリートは、温度が高いとひび割れが増えるなど品質低下のリスクが高まります。打設前の生コンクリートを液化窒素冷却することによって固化後のひび割れなどの発生を抑え、品質向上を実現します。



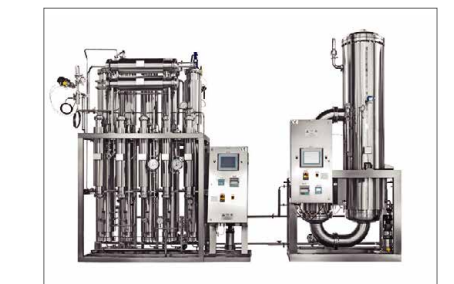
排ガス処理装置

イワタニは、あらゆる産業の製造プロセスから発生する腐食性ガス・臭気を効率よく確実に除去し、作業環境はもちろん地球環境保全に貢献しています。特に臭気対策においては、顧客ニーズに合わせた最適提案に向け、幅広いノウハウを蓄積しています。



蓄熱式排ガス浄化装置

自動車、化学、フィルム加工等広い分野で健康や環境に悪影響を及ぼす揮発性有機化合物 (VOC) の排出が問題となる中、省エネやCO₂削減に貢献する回収技術や除害システムを提案しています。



医薬品製造設備

日本および海外の製薬会社に向け、最新のレギュレーションに対応した医薬品製造設備を提案・納入しています。用水設備から充填設備、包装設備、保安サービスまで一貫して取り扱うことで、お客様の製造ライン運営をサポートしています。

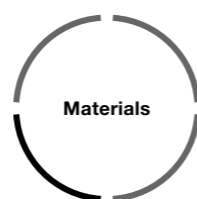


ニッチ市場は小さいとは限らない 素材から大きく育てる

イワタニは、ミネラルサンドをはじめ
海外における資源開発への投資、
環境や医療、精密部材などの取り組みを中心に、
素材から多種多様な産業ニーズに応えています。

ミネラルサンドの荷役 (愛知県名古屋市)

マテリアル



資源開発と用途開発で、新しい市場を開拓します。



ミネラルサンド・鉱産物原料

プラズマパネル用硝子 (PDP)、半導体研磨材、セラミックス、耐火物の原料として使用されるジルコンおよび顔料、溶接材料の原料として使用されるチタン原料、これらのミネラルサンドの取り扱いは、長年にわたり国内トップシェアを誇ります。耐火物業界、顔

料業界や電子材料業界などの幅広い分野で使用される鉱産物原料を中国やオーストラリアなどさまざまな国から日本へ輸入販売。アドバンスド・セラミックス分野へもフィールドを広げ、時代が要求するニーズに的確にお応えしています。



PKS (パームヤシ殻)

石炭の代替として注目される木質バイオマス燃料のPKSをインドネシア、マレーシアから輸入し、国内のバイオマス発電所へ供給しています。高品質なPKSを提供するため、当社の中央研究所で発熱量や水分値などの項目を分析し、独自の品質管理を徹底しています。



ステンレス・アルミ・高合金

国内ではイワタニステンレス会を中心に全国規模で加工・在庫・流通のネットワークを構築。ユーザーの細やかなニーズに対応すべく、機動力を発揮できる体制を確立しています。また、海外ではスマートフォンや自動車部品など成長市場への販売に注力しています。



低環境負荷 PET

当社は、ペットボトルなどの製品となる30%植物由来の原料を使用したバイオマスPETを本格的に市場へ投入しています。また、製造過程で用いられる触媒に重金属を含まないアルミニウム系触媒を使用するアルミニウム触媒PETも取り扱い、環境へのニーズの高まりに応えています。



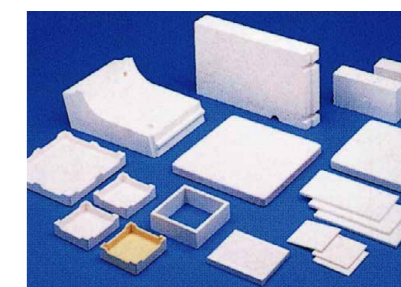
金属加工品

中国・東南アジアを中心に製造工場を設立し、メーカーポジションへの展開を進めています。今後さらに伸張する自動車や家電、電子部品関連業界をはじめ、多岐にわたる分野に金属加工品を開発・提案・供給しています。



合成樹脂原料・機能樹脂製品

中国、東南アジアに張り巡らせたネットワークを通じ、国内外で合成樹脂原料ならびに樹脂製品を展開。植物由来のバイオマスPETや太陽電池関連の機能性フィルムなど、高まる地球環境保護や変化する市場ニーズを的確に捉え、商材開発に取り組んでいます。



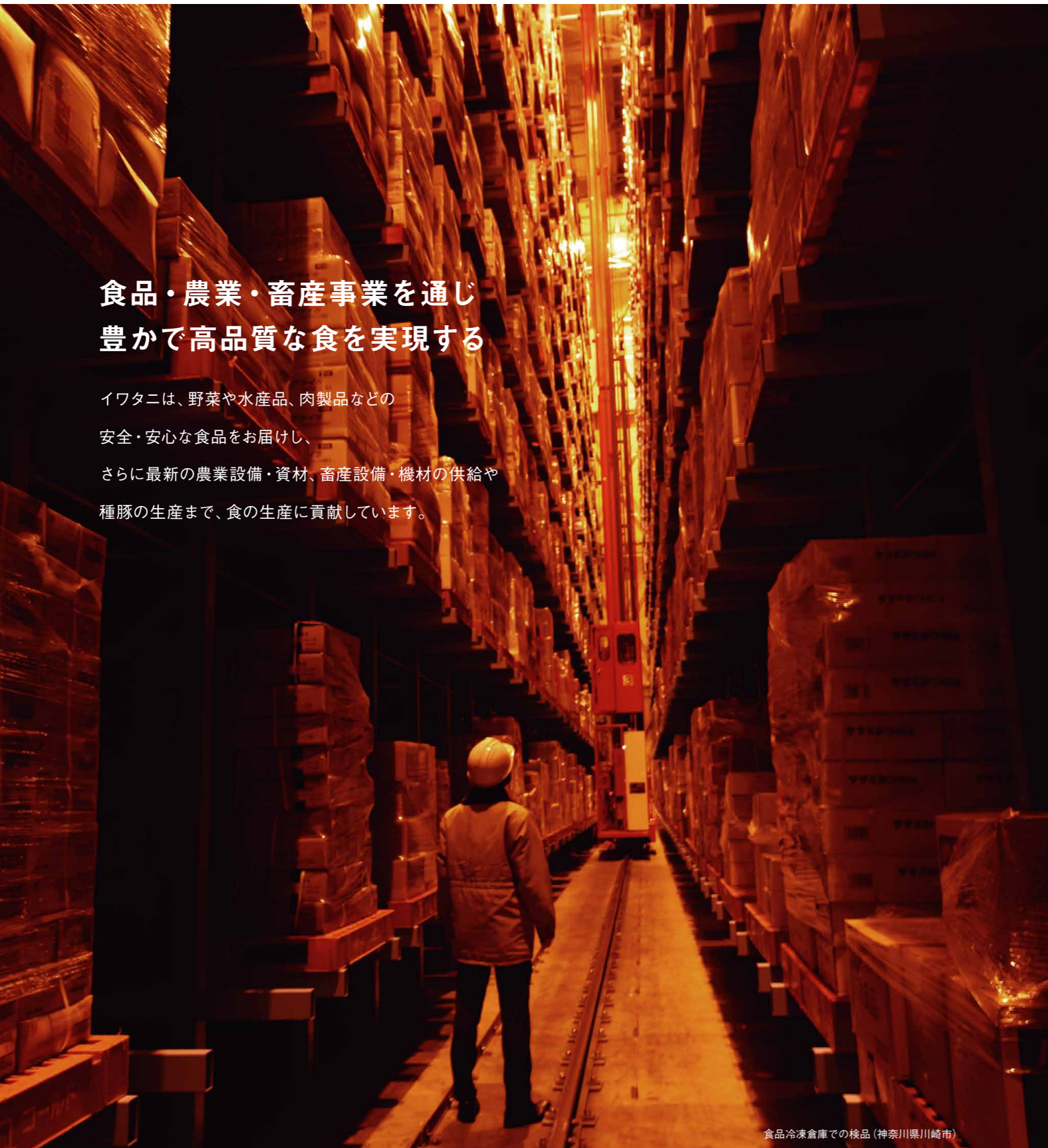
セラミックス原料・成型品

触媒や電子関連を中心にさまざまな分野へレアアース・ジルコニ化合物などのセラミックス原料の供給およびセラミックス原料を使用した成型品の販売を行っています。さらには、将来の成長が期待されるナノサイズの新たな新素材の開発にも取り組んでいます。



電子・ディスプレイ関連事業

国内外に金属、機能性フィルム、電子セラミックスの加工拠点を有し、多岐にわたる電子関連分野のニーズに対応。成長著しいスマートフォン、タブレットPCやリチウムイオン二次電池などの原料や部材を中心に独自ブランドによる新商材開発も行っています。



食品・農業・畜産事業を通じ 豊かで高品質な食を実現する

イワタニは、野菜や水産品、肉製品などの安全・安心な食品をお届けし、さらに最新の農業設備・資材、畜産設備・機材の供給や種豚の生産まで、食の生産に貢献しています。

食品冷凍倉庫での検品(神奈川県川崎市)



生活の視点で発想し、農業からアプローチします。



業務用・一般消費者向け冷凍食品

“選び抜いた食材を安全・安心とともにお届けする”この理念をもとに、暮らしをより豊かに、より美味しく彩るのがイワタニの食品。日本国内はもとより、世界各国から旬の逸品素材を提供しています。冷凍カット野菜からスタートしたこの事業も、現在

では冷凍和野菜をはじめ、冷凍水産品、冷凍肉製品、パン・デザートを含めた冷凍食品まで商品ラインアップも一段と充実。業務用を中心に販路展開を行ってきました。また、少子高齢化やパンデミックなどによる社会構造、価値観の変化を背景に拡大し



ている一般消費者向け冷凍食品市場に対しても、小容量冷凍カット野菜や冷凍惣菜などの消費者向け商品の開発や販売を通じ、さらなる事業領域の拡大を進めています。



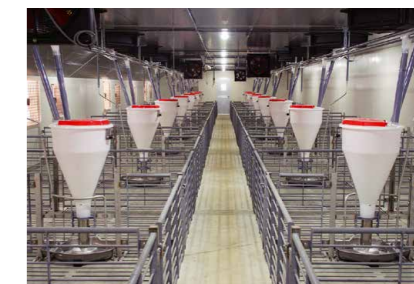
品質保証

「食の安全・安心を確かな品質保証体制で守り抜く」という使命のもと、自然産業本部が取り扱う食品の安全・安心を担保するため、独立した組織である技術・エンジニアリング本部内の品質保証部食品担当が、岩谷産業品質方針に則り品質保証体制を構築しています。



種豚

高い繁殖性、経済性を併せ持ち、消費者に好まれる豚肉を生産できるケンボロー種豚を、イワタニ・ケンボロー(株)の田代農場、東北農場で生産し、全国の養豚生産者に販売しています。



豚舎・畜産設備

ケンボロー種豚の遺伝的能力が最大限発揮できるように最新鋭の豚舎・畜産設備を供給しています。さらに、獣医を含めたスタッフによる「農場マネジメント」指導により、低コストで良質な豚肉の生産に貢献しています。



農業設備

清潔で作業性の良い環境を実現し、土を使わない栽培システムと光合成に必要な炭酸ガスの濃度制御、LPGやヒートポンプによる温度制御により野菜や苗の生育に適した農業ハウスを提供しています。




農業機器・資材

苗生産システム「イワタニプラグシステム」、果樹の追熟を促す「イワタニネオケーブシステム」などの省力化システムや土壌改良材「ピートモス」の輸入を通じ、良質な土壌の提供で農業の生産性の向上に貢献しています。



アルフロック台車

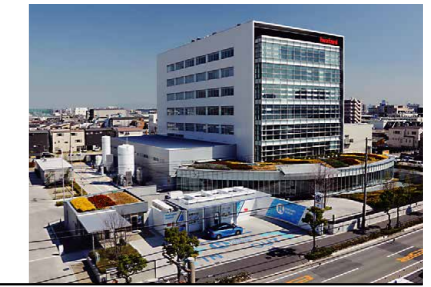
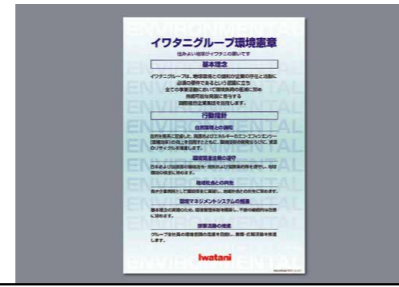
「花き」の物流に伴う頻繁な積み替え作業の解消に向け、花き専用物流台車「アルフロック」による一貫輸送という新発想を導入し、産地から市場まで花を傷めず迅速に供給。全国で稼働する約4万台のアルフロックを核に、「花き物流」の標準化を進めています。

A wide-angle photograph of a grassy field under a cloudy sky. In the foreground, a soccer ball sits on the grass. In the middle ground, a group of children are running towards the camera. The background is a dense line of trees.

住みよい地球が イワタニの願いです

創業者の岩谷直治は、
人はもちろん、企業も自然の一部だと考えました。
そして生まれた、自然を敬い、その摂理を重んじる「循環の思想」。
イワタニは、この想いをいまに受け継ぎ、
地球環境と地域社会の結び目となって、
教育、文化、スポーツの支援にも力をいれています。
もっと、自然と人間が向き合えるように働きかけること。
これもまた、住みよい地球づくりの大切な取り組み。
自然に生かされる以上に、自然に還していく活動を、
次の世代、さらに次の世代へと、つないでいきます。

生み出すだけでなく、
世の中に還していきます。



岩谷直治記念財団

科学技術の発展と国民生活の向上を願い、創業者 岩谷直治が私財を投じて1973年に設立。エネルギー・環境分野への研究支援と表彰、アジアからの留学生支援を柱に社会貢献活動を展開。岩谷直治記念賞をはじめ、科学技術研究助成や留学生への奨学助成を通じて人と社会に寄与しています。

イワタニグループ環境憲章

企業スローガン「住みよい地球がイワタニの願いです」の主旨に基づき、1998年に制定。あらゆる事業活動の根底にその理念を生かし、循環型社会の実現を推進しています。環境負荷の低減を通して世界の発展に貢献する企業グループとして、さまざまな分野で実践的な活動を行っています。

水素エネルギー社会実現に向けて

「水素エネルギー」の普及に向けて、(株)ハイドロエッジをはじめとした生産・供給体制を拡充。それと並行して水素ステーションの整備や安価で大量のCO₂フリー水素の調達に向けた検討、そしてイベントによる啓発活動など、多面的な取り組みを通して水素エネルギー社会の未来を牽引しています。

教育文化振興支援

新しい技術を次の世代へとリレーしていくことも、未来を拓くイワタニの責任です。水の電気分解やおもちゃの燃料電池車を使った実験を通して子どもたちに水素エネルギーを体感してもらおう活動の一環として、全国各地で水素実験教室を開催するなど啓発活動に取り組んでいます。

技術拠点 中央研究所

商社としての「情報力」とメーカーとしての「技術力」を融合し、ガス&エネルギーの新たな可能性を追求するイワタニ。「中央研究所」は水素をはじめとした各種ガス、マテリアル、食品など、幅広い分野の基礎研究から応用研究、製品開発に取り組み、新たな価値の創造に挑んでいます。

ふれあいから生まれる、
エネルギーがあります。



NHK交響楽団への事業協力

「交響管弦楽により、わが国の音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成する」というNHK交響楽団の主旨に賛同し、1987年から特別協賛企業として「N響“夏”」を中心に、地方公演やN響メンバーと若手音楽家が出会うコンサートに協賛。音楽を通じ、地域と文化のふれあいに貢献しています。

鳥人間コンテスト

人力飛行機で飛距離を競う鳥人間コンテスト。そのコンセプトが、クリーンエネルギー社会を目指す当社の事業方向性と合致することから、創業80周年の記念事業として2010年より特別協賛を始め、大会運営をサポート。住みよい地球を目指し、環境イベントへの支援も積極的に行っています。

陸上競技部

監督には、アテネオリンピックの金メダリストである野口みずきさんをはじめ、多くの長距離ランナーの育成で名高い廣瀬永和田氏を招請。女子駅伝を中心とした中長距離の選手を育成、支援するとともに、スポーツ活動を通じて関西を中心とした地域・社会への貢献を目指してまいります。

琵琶湖コンファレンスセンター

日本で最初の米国コンファレンス協会認定施設「琵琶湖コンファレンスセンター」を活用し社員研修や実践トレーニング、各種セミナーや資格・研修制度を充実。「人づくりのイワタニ」のノウハウが集約された施設と、豊かな環境はグループだけでなく一般企業・団体にも開放されています。

全国小学生作文コンクール

創業80周年記念事業として2010年にスタートした「住みよい地球～小学生作文コンクール」は、私たちが掲げる「住みよい地球がイワタニの願いです」の想いを、未来を担う子どもたちとともに考えようという試み。気付きと発見に満ちた子どもたちの「ことば」を未来につないでいきます。

企業市民として、人と自然の
未来を見つめます。



Marui gas 災害救援隊

災害時にいち早く現地に駆けつけ、LPガスの復旧やガス機器の安全点検を行う全国組織「Marui gas災害救援隊」。2011年の東日本大震災では発生後、いち早くLPガス容器320本と生活支援物資を携え現地に急行し、イワタニグループ震災支援の先陣として活動しました。

Marui gas 災害救援隊全国一斉訓練

1995年の阪神淡路大震災を機に、その翌年に「Marui gas災害救援隊」が活動を開始。毎年10月に「Marui gas防災の日」を設け、災害発生時を想定した「安否確認訓練」や「出勤準備訓練」など、エリアの特性に応じたより実践的な訓練内容にて、全国で一斉訓練を実施しています。

サウジアラムコ・岩谷産業 緊急災害時 LPガス支援基金

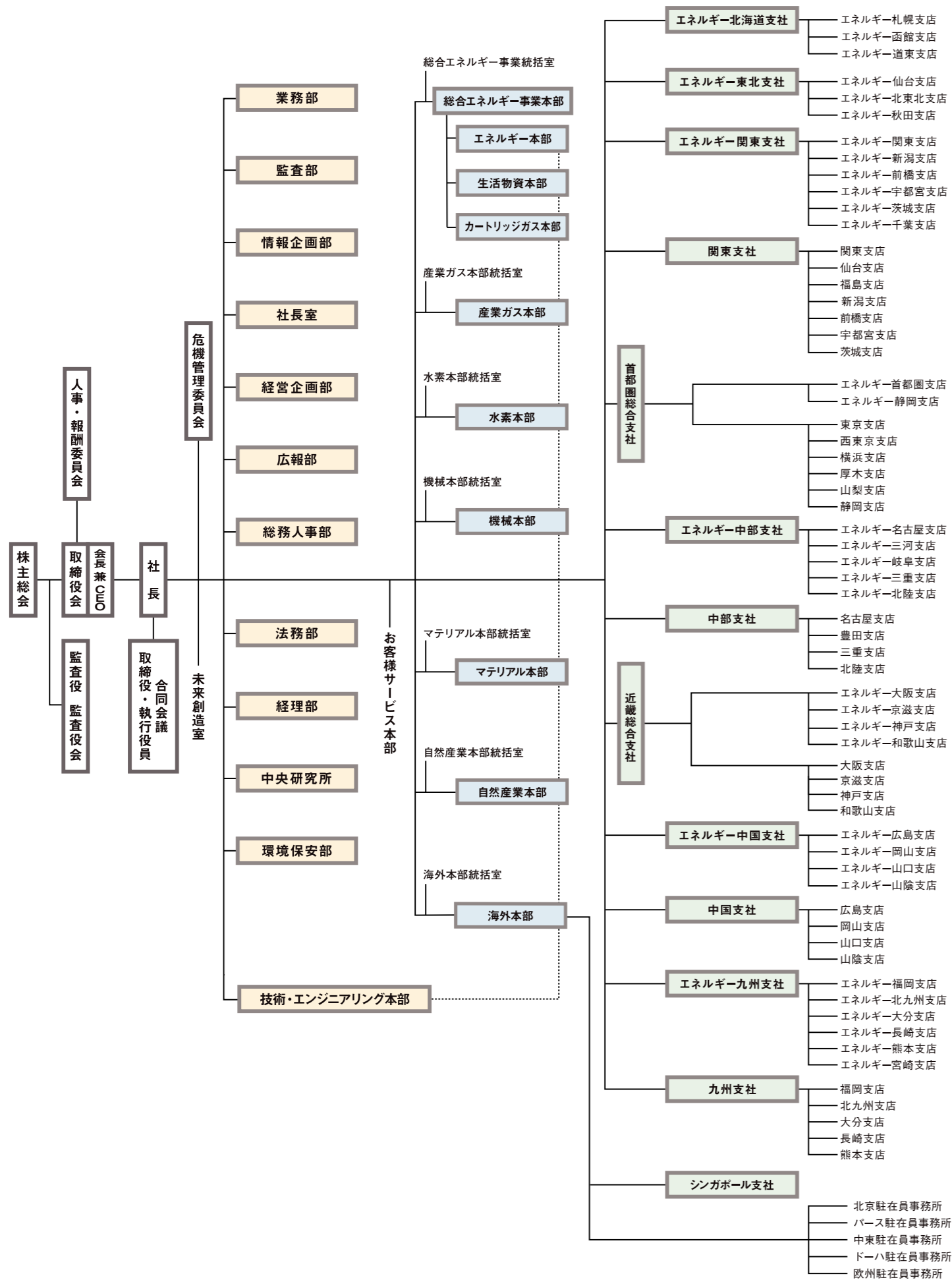
日本国内での大規模災害時におけるカセットこんろとカセットボンベの無償提供を目的に、サウジアラビア国営石油会社「サウジアラムコ」と共同で支援基金を設立。東日本大震災発生時には基金総額を200万ドルに増し、カセットこんろ14,112台、カセットボンベ85,152本を提供しました。

アジア各国の溶接技術向上に貢献

発展著しいアジア各国の溶接技術向上を目的に、1997年から10年にわたり中国・大連市で溶接技術セミナーおよび溶接コンクールを開催。以降、2007年にはベトナム・ハノイで、2013年からはインドネシア・ジャカルタにて溶接セミナーおよび溶接コンテストを開催するなど、積極的な取り組みを行っています。

東京本社・中央研究所の壁面緑化

植物の生育を助け、施工や維持管理も容易な都市緑化システム普及に向けた取り組みの一環として、東京本社および中央研究所の壁面を緑化。数種の植物を組み合わせた緑化システムは大気の浄化効果が期待されるとともに、都市景観にも豊かな潤いを与え、道行く多くの人々の目を楽しませています。



会社概要

商号 / 岩谷産業株式会社

設立 / 1945(昭和20)年2月2日

創業 / 1930(昭和5)年5月5日

代表者 / 代表取締役会長 兼 CEO 牧野 明次

代表取締役副会長 渡邊 敏夫

代表取締役 社長執行役員 間島 寛

会社沿革

1930(昭和5)年	大阪市港区に岩谷直治商店を創業し、酸素・溶接棒・カーバイドの販売に取り組む。	2005(平成17)年	地域分社・四国岩谷産業(株)設立。関西電力(株)と液化水素方式の移動式水素ステーションを共同開発。東芝燃料電池システム(株)と一般家庭用にLPガス改質型家庭用燃料電池コージェネの実証運転を開始。
1945(昭和20)年	資本金19万8千円で岩谷産業(株)を設立。創業者 岩谷直治が社長に就任。	2006(平成18)年	LPガス国家備蓄基地「神栖国家石油ガス備蓄基地(20万トン)」完成。2004年に堺LNG(株)と設立した「(株)ハイドロエッジ」の液化水素、ならびに空気分離ガスプラントが運転開始。国際水素エネルギー協会の「コンスタンチン・ツイオルコフスキー賞」受賞。
1947(昭和22)年	大阪市東区本町3丁目本社社屋建設。	2007(平成19)年	能登半島地震被災地にはMarui Gas災害救援隊を派遣し、新潟県中越沖地震ではカセットフー他を輸送。東日本で(株)INステンレス加工センター設立。「関西空港水素ステーション」完成稼働。グループの甲賀エナジー(株)で天然ガスを供給開始。「日本縦断燃料電池車・水素自動車キャラバン」で水素教室などを各地で開催。
1953(昭和28)年	マルキプロパンを家庭用に販売開始。	2008(平成20)年	テリー駐在員事務所を開設。関東圏でも産業向けにLNGを供給開始。英文社名を Iwatani Corporation に改訂。室温でオゾンガスを濃縮する新技術を開発。京都大学と三フッ化塩素(CIF ₃)ガスをを用いた半導体製造向けガスクラスターエッチング技術を開発。
1962(昭和37)年	大証・東証第2部に上場、1965年に第1部に昇格。	2009(平成21)年	「サウジアラムコ-岩谷産業緊急災害時LPガス支援基金」を共同設立。東日本初の液化水素製造プラント、岩谷瓦斯(株)千葉工場で竣工。家庭用燃料電池「エネファーム」の本格販売開始。「北九州水素ステーション」完成稼働。純水素型小型燃料電池搭載「水素自転車」を開発。
1964(昭和39)年	オーストラリアAMA社の日本総代理店となりミネラルサントの取り扱いに拍車。東京オリビック聖火に、マルキプロパンが採用される。	2010(平成22)年	創業80周年。堺、岡崎の機能を集約し、大阪ヘリウムセンターが稼働・竣工。東日本大震災発生。カセットこんろ35万台、カセットボンベ905万本を緊急出荷。
1966(昭和41)年	カナダからLPガスの輸入開始。	2011(平成23)年	牧野明次会長兼CEO、渡邊敏夫副会長、野村雅男社長体制となる。
1969(昭和44)年	ガス漏れ警報器「みはり」とホースンこんろ「カセットフー」を商品開発、発売。大阪・東京の2本社制となる。	2012(平成24)年	兵庫県尼崎市に「中央研究所」が完成。「富士の湧水」を原料に使用した化粧品「fujina」を発売。山口県周南市に国内3カ所目の液化水素製造プラント「山口リキッドハイドロジェン(株)」が運転開始。
1970(昭和45)年	大阪本社を大阪市中央区本町3丁目4番8号に移転。企業スローガンに「住みよい地球がイワタニの願いです」を採用。中国の友好商社に指定され中国貿易本格化。	2013(平成25)年	国内4カ所目の液化炭酸製造プラント「堺カーボニクス」を設立。
1972(昭和47)年	岩谷直治記念財団発足。	2014(平成26)年	日本初の商業用移動式水素ステーション開設へ豊田通商(株)、大陽日酸(株)との3社共同で水素供給の新会社を設立。
1973(昭和48)年	大阪ガス(株)と合併で(株)コールド・エアー・プロダクツを設立し、空気分離によるガスの製造分野に進出。	2015(平成27)年	東京タワー近傍に商用水素ステーション「イワタニ水素ステーション 芝公園」開所。
1975(昭和50)年	川崎製鉄(株)の一次商社となり、金属部門を拡大。初の本格液化水素製造プラント完成。1986年からの全H型宇宙開発ロケットに液化水素を供給。	2016(平成28)年	4大都市圏を中心に20カ所、商用水素ステーションを完成。熊本県地震の被災地にMarui Gas災害救援隊を派遣。義援金1,000万円を拠出。
1977(昭和52)年	創業50周年。	2017(平成29)年	谷本光博社長就任。陸上競技部を創部、監督に廣瀬永和氏が就任。
1978(昭和53)年	堺LPG輸入ターミナル完成(8万トン強)、翌年ベトロミン社よりLPガスの直輸入開始。	2018(平成30)年	「日本水素ステーションネットワーク合同会社(JH2M)」に参画。「福井しあわせ元気」国体・障スポの炬火台の燃料に水素を供給。
1980(昭和55)年	関東初のセバレートガスプラント「岩谷瓦斯(株)甲府工場」竣工。	2019(令和元年)	宝塚歌劇団 宙組トップスター 真風涼帆氏をイメージキャラクターとして起用。
1983(昭和58)年	米ユニオン・カーバイド社と工業ガス分野で業務提携を締結。岩谷直治会長・齋藤興二社長体制船出。	2020(令和2)年	創業90周年。間島寛社長就任。未来を共創する交流スペース「未来創造室」、アンテナショップ「Iwatani Base Camp」オープン。
1985(昭和60)年	第2次生活創業を提唱し、ライフアップ事業スタート。 Iwatani のロゴマーク採用。滋賀技術センター(守山市)を開設。NHK交響楽団と事業協力に着手。		
1986(昭和61)年	大連岩谷気体機具有限公司設立を皮切りに、中国で各種の合併事業を展開。		
1987(昭和62)年	創業60周年。		
1989(平成元年)	“第1回メセナ大賞1991”で「メセナ賞」を受賞。マルキプロパン発売40周年を記念し、ブランドを Marui Gas に改新。		
1990(平成2)年	鹿島共同備蓄LPGターミナル(22.5万トン)と喜連川セバレートガスプラント完成、稼働開始。		
1991(平成3)年	阪神・淡路大震災被災地にカセットフーを緊急輸送。「イワタニグループ環境憲章」制定。		
1993(平成5)年	楊井立夫社長、岩谷直治名誉会長体制となる。創業70周年。牧野明次社長就任。		
1994(平成6)年	翌年に向け関西・中部・北陸の電力3社他とそれぞれLNG販売会社を設立。全事業所(支社以上)でISO14001の一括拡大認証を取得。簡易型LPガススタンド「セルフステーションa」を開発。国内初の「大阪・西島水素ステーション」を完成。国内初の「移動式水素ステーション」開発し、水素のインフラ整備を推進。		
1995(平成7)年	民間企業初、2台の燃料電池車(「Honda FCX」と「トヨタFCHV」)を購入し、全国各地でPR。東京に「有明水素ステーション」が完成。次世代エネルギー・DMEを燃料とする小型トラックや福祉マイクロバスを共同開発。		
1997(平成9)年	執行役員制度を導入。新潟県中越地震被災地にカセットこんろとガスを緊急出荷し、合わせてMarui Gas災害救援隊を派遣。		
1998(平成10)年			
2000(平成12)年			
2002(平成14)年			
2003(平成15)年			
2004(平成16)年			

Iwatani

岩谷産業株式会社

大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL(06)7637-3468
東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 TEL(03)5405-5851



このFSCのロゴマークは、この会社案内に使用されている木材繊維が森林管理協議会(FSC)のルールに則って適切に管理されている森林から生産されたものであることを示します。